日本産のオオヒメグモ属について

吉田　哉（山形県立博物館）

オオヒメグモ属*Parasteatoda*は，オオヒメグモをタイプ種として，Archerにより1946年創設された．最初はヒメグモ属*Theridion*のシノニムと考えられ，1980年ころからは*Achaearanea*（現在アメリカのみに分布）のシノニムとされ，*Parasteatoda*が独立した属として広く使われるようになったのは最近である．「吉田（2009）ヒメグモ科：日本産クモ類」ではオオヒメグモ属として12種が記載されている．この中にはオオヒメグモとカグヤヒメグモのように外観や形態が似ている種もある．しかし，オオヒメグモと比べてニホンヒメグモやキヨヒメグモのように外観があまり似ていない種もある．ヒザブトヒメグモは最近新しい属に転属した．ここではこれらの種について，①「属の問題点」としてニホンヒメグモやキヨヒメグモなどはオオヒメグモ属で良いか，②「種の問題点」としてこれまでの種のとらえ方に問題はないかということについて論じたい．